

豊かな人間性と身につけた学術が新たな未来を創造する

九州共立大学学部のご紹介

経済学部[経済・経営学科][地域創造学科(社会貢献コース・地域経済コース)]

**実践的経済学を幅広く学び、資格・就職に強い
生きた経済・経営の分かる人材を育成**

大きく変動して行く社会や経済の仕組みを正しく知り、現代を生き抜く方法論を身に付け、企業経営のノウハウに精通した新しいビジネスリーダーを育成します。多様な目的意識を有する学生に、経済学領域・経営学領域の基礎を習得させるとともに、知識基盤社会において必要な「課題追求能力」「課題解決能力」「コミュニケーション能力」「実践力」「調整能力」を有する人材を育成します。



スポーツ学部[スポーツ学科]

スポーツ総合コース・スポーツ教育コース・スポーツトレーナーコース・健康フィットネスコース・スポーツ政策コース

大学院[スポーツ学研究科]

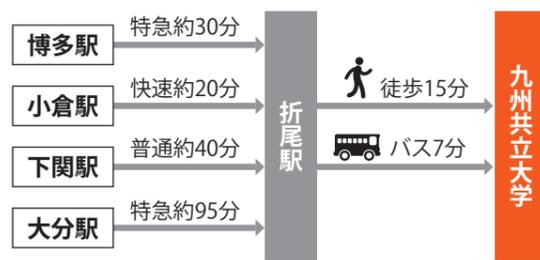
スポーツを多角的に捉え、身体や技能に関わることはもちろん、社会の中におけるスポーツの意義と生かし方を学ぶ

専門分野の知識や技術を身に付けるだけでなく、協調性・社会性・コミュニケーション能力などを育み、リーダーシップのとれる人間づくりを目指します。スポーツ指導、基礎トレーニング法、体力測定法、障がい・外傷・疾病への対応など、実習科目を通し体験を重視する教育の中で、人間力を育みます。スポーツ界における人材はもちろん、実社会においてリーダーシップを発揮できる人材を送り出しています。



ACCESS MAP

JR利用



自動車利用

北九州市都市高速 黒崎ICから車で約20分
国道3号線 折尾駅入口交差点から車で約5分



九州共立大学
KYUSHU KYORITSU UNIVERSITY

地域連携推進センター

お問い合わせ先 Tel:093-693-3255

住所:福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1番8号

ホームページ: <http://www.kyukyo-u.ac.jp/>

九州共立大学 地域連携 推進センター

地域、企業、自治体とのつながりを通じて
学生の成長と地域の活性化を図る

九州共立大学
KYUSHU KYORITSU UNIVERSITY

地域に開かれた大学への架け橋

地域連携部門

協定締結機関及び協力機関との事業プランに関する調整及びマッチングを行い、事業プランを実現し学生と社会の接点を演出します。

産・学・官による地域連携を強化

九州共立大学では、地域連携・社会貢献を教育・研究とともに大学使命の重要な柱と位置付け、地域企業はもとより、市町村との連携を大切にしています。

連携先

- 北九州市
- 北九州市教育委員会
- 北九州商工会議所
- 北九州スポーツ協会
- 岡垣町
- 水巻町
- 芦屋町
- 大和証券(株)
- 遠賀信用金庫
- 北九州あゆみの会



活動報告

北九州マラソン

2014年より救護ボランティア(AED隊)として学生たちが毎年多数参加し、約1万人のランナーをサポートしました。



岡垣プロジェクト『岡垣学』習俗・郷土料理・地名考証！ 『岡垣歴史新聞』郷土の魅力再発見！

2015年、九州共立大学と岡垣町は「包括的地域連携協定」を締結し、地域活性化を目指す取り組みを行ってきました。学生がフィールドワークで得た知識を広めたいと、「岡垣学Ⅰ」として岡垣町に伝わる習俗や伝統を一冊にまとめました(岡垣学Ⅲまで発刊)。また、約35年前に発見された湯川山の石垣にまつわる特集記事を展開した「岡垣歴史新聞」を発刊し(現在、第4号)、さらに、岡垣町において小学5年生と中学2年生を対象に人権意識調査を実施し、吉木小学校で学生がオリジナルの授業指導案をもとに人権授業を行いました。「岡垣学」については、毎年3月、同町の地域交流センターで約30名の町民が出席して、学生により冊子の内容の解説が行われ、地域活性化の活動に大きく寄与しています。2017年11月28日、岡垣町役場に於いて「岡垣学Ⅰ」「岡垣歴史新聞」「人権意識調査分析報告書」を岡垣町長に贈呈しました(写真)。



〔SDGs〕×〔九州共立大学〕

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで、全会一致(193カ国)で採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの世界の開発目標です。「地球上の誰一人として取り残さない」ことをスローガンに、開発途上国のみならず、先進国も取り組むこととされています。また、SDGsは達成すべき具体的な目標として、17のゴール(意欲目標)・169のターゲット(行動目標)・232のインディケータ(指標)の3層構造で、ゴール、ターゲットの達成度をインディケータで評価する構成となっています。

この目標(ゴールとターゲット)は、持続可能な開発を達成する上で重要とされる3つの側面(経済、社会、環境)を統合させるものです。



地域社会
●地域
●企業
●自治体

地域連携
推進センター

九州共立大学
●教育・研究
●学生
●施設

九州共立大学 地域連携 推進センター の役割

地域連携推進センターとは、九州共立大学と地域・企業・自治体との連携共同体の構築のために組織した機関です。「地方創生」が声高に叫ばれる中、本校が「地域連携・地域貢献」の拠点(中核)となるべく組織された、いわば「街の中核」的組織です。地域と大学の接点であり、「地域の窓口」として様々な取り組みを行っています。本学の知識・人材(経済学部・スポーツ学部)を活用した「地域連携」「研究推進」「生涯学習・資格取得支援」の各事業を一体として行うことにより、地域の活性化、人材育成の一翼を担い「地域に開かれた大学」としての役割を果たします。

研究推進部門

企業、自治体、他大学との地域連携に関する共同研究の窓口の役割を果たし、学内機関とのマッチングを行います。年間を通じた研究発表会等の企画立案・運営を行い、地域連携に関する研究を推進します。

生涯学習・資格取得支援部門

公開講座・有料講座の企画立案の実施を行い、地域への知的学習を支援します。学部教育と連携し、採用試験対策講座を企画運営し、学生の将来の夢の実現をサポートします。

ご挨拶

人生100年時代の到来とSociety5.0(狩猟・農耕・工業・情報社会に続く人間中心の社会)、国連によるSDGs(持続可能な社会づくり)の提唱など、未来へ向けての社会の在り方が模索されています。その中において、グローバル社会の中のローカルの見直し、いわゆるグローカリゼーションが注目されています。地域社会の住民が地域社会の運営に主体的に関わること、地域社会の住民が自ら希望することを学び、その成果を地域づくりの人材として活かすことが求められています。

このような中、大学の役割は地域社会の拠点として、ひとづくり・地域づくり・つながりづくりを支援することです。九州共立大学地域連携推進センターは先進的な地域連携システムを構築し、「地域の皆様と共に」をモットーに、オープンな存在としてのその機能を提供します。多くの皆様のご活用をお待ちしております。



スポーツ学部教授
地域連携推進センター
所長
山田 明

〔地域〕×〔九州共立大学〕

経済学部 地域創造学科

北九州市および近隣都市での実践活動を重視し、地域の諸問題とその解決方法について考察する課題解決型の授業を展開しています。自治体や企業・団体などと連携を取りながら、地域経済の活性化、地域に根ざしたビジネスの創造、地域振興や魅力あるまちづくりを担う人材を育成します。

スポーツ学部 スポーツ政策コース

生涯スポーツを取り巻く機運が熟している今、行政の立場から地域のスポーツ関連政策・イベントに携わることが重要視されています。地域のスポーツを活性化させ、世界のスポーツシーンを牽引できる人材を育成します。

広がる可能性

行政職(国家地方上級等)、警察官、消防士、自衛官を目指す!
社会教育主事・社会教育士の資格取得を目指す!